

新年に 年頭の

東通村議会議長
小笠原 清春



新年明けましておめでとうございます。

村民の皆様におかれましては、平成二十七年の輝かしい新春を心も新たにお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。東通村議会を代表いたしまして、新年のご挨拶を申し上げます。

また、平素より村議会活動並びに村政運営に對しまして、温かいご理解とご協力をいただいておりますことに心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を顧みれば、景気・雇用・教育、社会福祉や国際情勢問題など難問が山積している中、国政では、年末に安倍内閣の衆議院解散による選挙が行われるなど、非常に慌ただしい一年であつたように思われます。

しかしながら、今選挙結果で安倍政権が信任され継続となり、世界を見渡してみても安倍政権ほど安定した政権は、少なくとも先進国では他に例を見ない政権となっており、かつ、原子力発電所の再稼働容認を見据える政権でもあり、我が村の将来にとつても大きな希望の光と言つても過言ではありません。

一方、第一次産業を主とする我が村では、水産業で海水冷温による水揚げ不振が非常に心配された時期もありましたが、何とか平年並みまで回復したのと思われまふ。しかしながら、農業の稲作では全国的な豊作で過剰米の影響による米価の下落が生ずるなど、生産者にとって非常に厳しい年となりました。

ました。

このような状況は、村内コメ農家の生産意欲の減退や高齢農家によつて支えられている村の農業維持・発展にとつて憂慮すべき事態であり、村議会として「政府による緊急の過剰米処理を求める意見書」を農林水産大臣に提出したところであります。

他方、各地域で局地的に猛烈な雨での災害や火山噴火で多くの犠牲者が出るなど自然の猛威に脅かされました。

また、当村の小田野沢地区では、突風による建物に被害が出るなど、これまでの想定をはるかに超えた自然災害が発生し、自然の恐ろしさを改めて実感させられる一年でもありました。

小田野沢地区の被害のあつた皆さんはじめ、被災された全国の方々に哀悼とお見舞いを申し上げるものであります。

私ども村議会は、平成二十三年三月十一日の東日本大震災直後の五月に、現在の議会構成となり三年八ヶ月を経過しました。春には、統一地方選挙において、村民の皆様方のご審判を仰ぐこととなります。

過去三年八ヶ月間は、我々議員にとつて大変な試練の年月でもありました。議会も村も努力するだけでは、どうしようもない大きな波に飲み込まれて、社会的に劇的な変革が求められました。財政状況が非常に厳しくなる中、一人や一自治体でできることには限りがあります。日本経済はようやく明る

さを取り戻してまいりましたが、昨年四月からの消費税増税により、村民の皆様並びに村経済を牽引する事業者の皆様にも様々な影響が出たものとお察しします。また、村の重要な財源である原子力発電所に係る固定資産税も償却により年々減少し、村の歳入にも大きな影響をもたらしています。そのような状況下であっても、大型公共施設の老朽化や高齢化・少子化への対応、学校等の維持管理等の村政の主要課題にも取り組んでいかなければなりません。

私ども議会も積極的に外に向かつて働きかける努力が必要であることから、昨年四月二十二日、東通原子力発電所の再稼働を求め、村長と全議員で東北電力本店を訪問し、強く、再稼働の実現を要望して参りました。

また、同じく十月十四・十五日の両日に掛け、村長、議長、原発特別委員長により、国の経済産業省及び県選出の衆・参国會議員、自民党本部、東京電力本店に出向き、村の現状を強く訴え、東京電力の建設工事再開と併せて東北電力1号機の再稼働について強く要望して参りました。

このような状況の中、まさに地方自治の真価が問われる新たな年を迎え、限られた財源をどのような施策に充てるべきか、村議会といたしましても議員一人ひとりの責務を全うし、議会の場で議論を尽くし、将来の東通村のありべき姿をしっかりと見定めて村政に

提言していくのが、私たち議員の重要な使命であると考えております。村と一体となつて進めるべきものについては、議員一人となつて村と協力して問題解決し、村民の社会福祉の向上に寄与するよう邁進する次第であります。

私ども議員は、これからも、村民の皆様方の声に耳を傾け、社会の変化に伴い複雑化、多様化する行政需要を的確に把握し、その声を村政に反映させ、「安全・安心、そして元氣な東通村」に誠心誠意取り組んで参ります。

私どもの任期も残すところ四カ月となりましたが、議員一同東通村の発展のために一層の開かれた議会を目指して、主体的な判断力と自己責任をもつて、村民の皆様のご期待にこたえて参ります。

東通村の輝かしい未来に向け、既成概念にとらわれない斬新な発想のもと、村民の皆様への負託に応えられるよう、心をひとつに英知を結集して村政発展に精力的かつ果敢に挑戦して参ります。村民の皆様には今後とも、変わらぬご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

ここに、村民の皆様のご多幸とご繁栄をお祈りするとともに、平成二十七年が我が村の大いなる飛躍の年であることを念願し、新年のご挨拶といたします。